

お知らせ

平成28年6月3日

同時資料提供先

合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政滝町クラブ、中国地方建設記者クラブ

良好な水質状況をみんなで実感！
今年度も参加者を募集！！
昨年度は水生生物調査に延べ2,155名参加！

～中国地方整備局 平成27年度 水生生物調査の実施結果について～

<水生生物調査とは？>

川底にどのような生物が住んでいるかを調べることで、その地点の比較的長い期間の水質の状態を簡易的に判定する、住民参加型の調査です。誰にでも簡単に水質状況が判定できるので、昭和59年から小・中学生、高校生を中心に、多くの方々に参加していただいています。

水生生物調査は、河川と親しみながら調査をすることで、身近な存在である河川に対して、河川愛護、水質浄化等の関心を高めてもらうことを目的として実施しています。

<平成27年度実施状況>

中国地方の一級河川の101地点において、6月から12月にかけて小・中学生、高校生を中心に78団体、延べ2,155名の参加を得て実施しました。



水生生物の調査風景

<平成27年度調査結果>

水質を〔I〕きれいな水～〔IV〕大変きかない水の4つの階級に分けて取りまとめた結果、〔I〕きれいな水および〔II〕ややきれいな水と評価された地点が全体の93%となり、概ね良好な結果となりました。

きれいな水の生物 カワゲラ



きれいな水の生物 ヘビトンボ



国土交通省 中国地方整備局

○問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局

電話番号 (082) 221-9231 (代表)

(担当) 河川部 流域・水防調整官 かわしま あきまさ 川島 明昌 (内線3518)

(担当) 河川部 建設専門官 もりうえ かずじ 森上 和治 (内線3758)

(広報担当窓口) 総務部 広報広聴対策官 さかや まさゆき 坂屋 政之 (内線2117)

企画部 環境調整官 まつもと はるお 松本 治男 (内線3114)

～中国地方整備局 平成28年度 水生生物調査の実施について～

平成28年度も引き続き、全国水生生物調査を実施します。詳細については中国地方整備局又は各県の環境部局までお問い合わせください。

(お問い合わせ先)

- 中国地方整備局の窓口（一級河川直轄管理区間に関するもの）

事務所名	HPのURL	担当水系名	電話番号	担当部課名
鳥取河川国道事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/	千代川	0857-22-8435	河川管理課
倉吉河川国道事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/kurayoshi/	天神川	0858-26-6221	河川管理課
日野川河川事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/hinogawa/	日野川	0859-27-5484	調査設計課
出雲河川事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/	斐伊川	0853-21-1850	水環境課
浜田河川国道事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/	江の川(島根県)	0855-22-2480	河川管理課
		高津川		
岡山河川事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/	吉井川	086-223-5101	河川環境課
		旭川		
		高梁川		
福山河川国道事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/fukuyama/	芦田川	084-923-2620	調査設計第一課
三次河川国道事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/miyoshi/	江の川(広島県)	0824-63-4121	調査設計課
太田川河川事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/ootagawa/	太田川	082-221-2436	管理第一課
		小瀬川		
山口河川国道事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/	佐波川	0835-22-1890	河川管理課
中国地方整備局	http://www.cgr.mlit.go.jp		082-221-9231	河川部
				水災害予報センター

- 各県の環境部局

https://water-pub.env.go.jp/water-pub/mizu-site/mizu/suisei/etsuran/list_pref.html

平成 2 7 年度

水生生物による水質の簡易調査の実施結果

中国地方整備局

調査風景－1

千代川水系 千代川 さぬき 佐貫地点（鳥取県）



天神川水系 天神川 こだまし 小田橋地点（鳥取県）



日野川水系 日野川 くずも 車尾堰地点（鳥取県）



斐伊川水系 神戸川 まきおおはし 馬木大橋地点（島根県）



斐伊川水系 中海 ほんじょうみずべのがっこう 本庄水辺の楽校地点（島根県）



高津川水系 匹見川 よこた 横田地点（島根県）



調査風景－2

江の川水系 江の川 かすぶち 粕淵地点（島根県）



吉井川水系 金剛川 みやばし 宮橋地点（岡山県）



旭川水系 旭川 しんおおはらばし 新大原橋地点（岡山県）



芦田川水系 芦田川 やまてばし 山手橋地点（広島県）

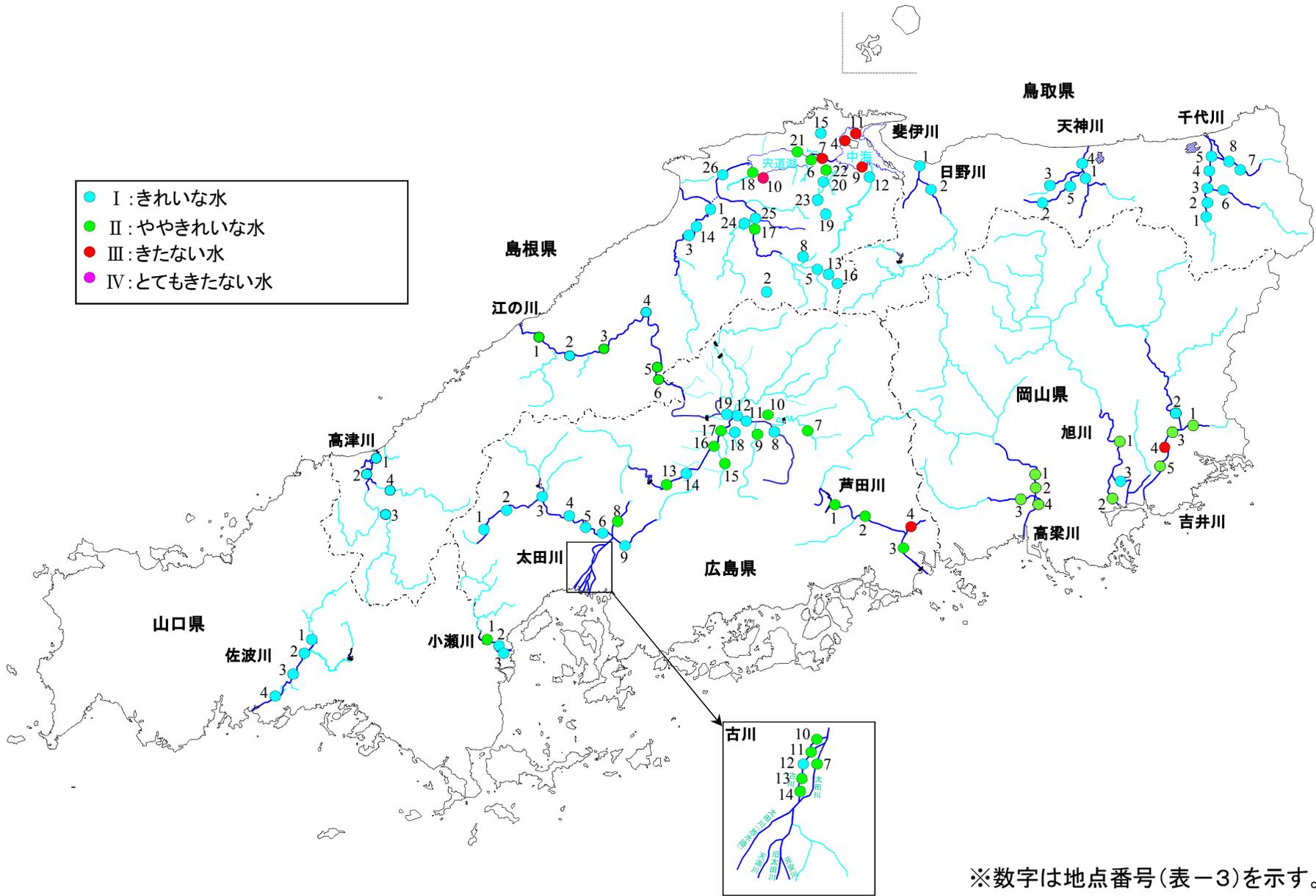


太田川水系 太田川 あさおおはし 安佐大橋地点（広島県）



佐波川水系 佐波川 もとばし 本橋地点（山口県）





調査地点概要図(中国地方整備局)

1. 調査の目的

河川の中にはさまざまな生物が生息していますが、特に川底に生息する生物（水生生物）は、過去から調査時点までの長時間の水質状況を反映した結果でもあります。

したがって、どのような生物が生息しているかを調べることによって、その地点の比較的長い期間の水質の状態を知ることができます。

国土交通省と環境省では、それぞれ昭和59年から「水生生物による水質の簡易調査」（以下「水生生物調査」という）をはじめています。

水生生物調査は、誰にでも簡単に水質状況が判定できるので、小・中学生、高校生を中心に、多くの方々に参加していただき、河川と親しみながら、河川の水質状況を把握し、水質保全施策の基礎資料を得るとともに、調査を通じて私達の身近な存在である河川に対して、河川愛護、水質浄化等の関心を高めてもらうことを目的として実施しています。

2. 参加者数と調査地点数

小・中学生を中心に、78団体、延べ2,155名の参加を得て、中国地方一級河川の101地点で実施。

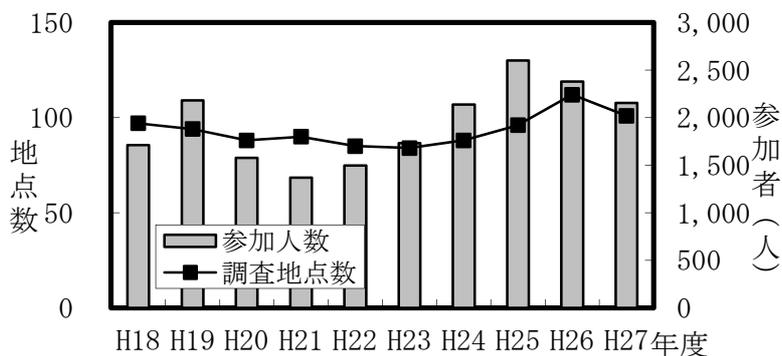


図-1 参加者数と調査地点数

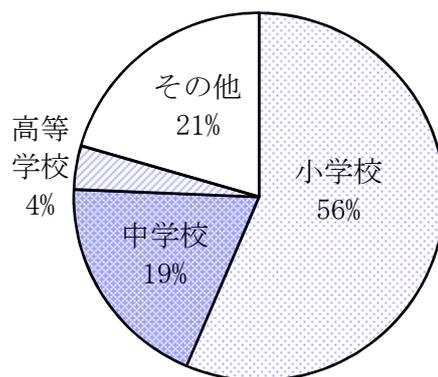


図-2 平成27年度 調査参加団体構成比

平成27年度の調査は、中国地方の一級河川の101地点において、6月から12月にかけて、78団体、延べ2,155人の参加を得て実施しました（P.7 表-2参照）。

多くの子供達に調査をしていただいたことで大変貴重なデータを得ることができました。子供達にとっても、水に親しみながら調査をしたことで”きれいな川”に対するより具体的なイメージを持って頂く機会になったと思います。

3. 調査の方法

この調査は、国土交通省河川局(現：水管理国土保全局)編「川の生きものを調べよう～水生生物による水質判定～」を基に、川底に生息する水生生物を採取し、表－1に示す『水のきれいさ』の指標となっている生物の種類数と個体数により、川の水質状況を判定するものです。

表－1 水のきれいさの程度(階級)とその指標となる生物

I：きれいな水の生物	II：ややきれいな水の生物
ナミウズムシ ヒラタカゲロウ類 ヘビトンボ ヤマトビケラ類 アミカ類	サワガニ カワゲラ類 ナガレトビケラ類 ブユ類 ヨコエビ類
カワニナ類 コガタシマトビケラ類 ヒラタドロムシ類 ○ヤマトシジミ	コオニヤンマ オオシマトビケラ ゲンジボタル ○イシマキガイ
III：きたない水の生物	IV：とてもきたない水の生物
タニシ類 ミズムシ ○ニホンドロソコエビ	シマイシビル ミズカマキリ ○イソコツブムシ類
サカマキガイ アメリカザリガニ チョウバエ類	エラミミズ ユスリカ類

注) ○は海水の少し混ざっている汽水域の生物

・判定方法

水質階級の判定方法は、調査地点毎に出現した個体数の多かった指標生物2種類(ただし、3種類の指標生物についてはほぼ同じ個体数であった場合は、最大3種類)については2点、それ以外の指標生物については1点として点数をつける。

- ・各階級ごとに各指標生物の点数を合計する。
- ・点数のもっとも高い階級をその地点の水質階級と判定する。
- ・ただし、複数の階級について同点がある場合には、水質の良い階級をその地点の階級とする。例えば、階級Iと階級IIが同点の場合は階級Iとする。

4. 調査結果概要

水質階級 [I]、[II] と判定された地点が全体の93%

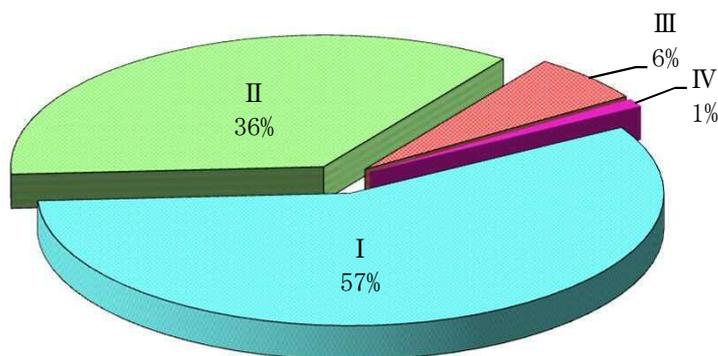


図-3 平成27年度 水質階級構成比

水生生物からみた中国地方の一級河川の水質状況は、調査地点101地点のうち、「I：きれいな水」が58地点、「II：ややきれいな水」が36地点、「III：きたない水」が6地点、「IV：とてもきたない水」が1点でした。

この結果、[I]、[II]と判定された地点が全体の93%となり、中国地方の一級河川の水質は良好な状態を保っています。

水質の良好な状態を保つため、今後も生活排水などの河川の水質に影響を及ぼすものに対する一人一人の心掛けが必要です。

中国地方の一級河川の水質は、良好な状態を維持

図-4は、過去10年間の判定水質階級比率の推移を表したのですが、階級 I と II を合わせた比率は93～99%であり、中国地方の一級河川の水質は、継続的に良好な状態を維持しています。

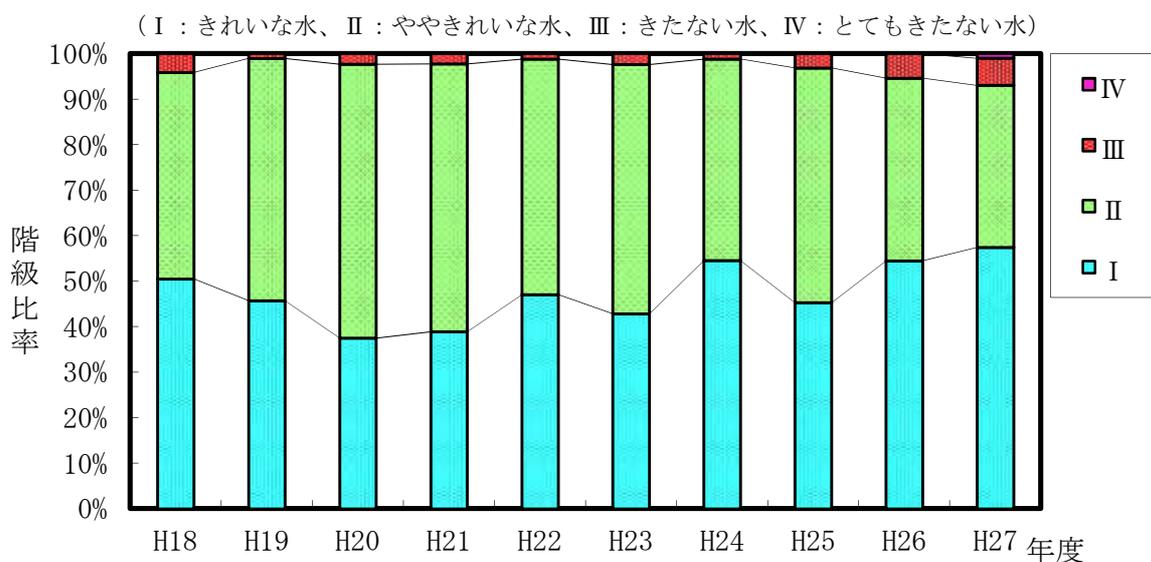


図-4 判定水質階級比率の推移

5. 河川別参加者、参加団体等集計

表－2 水生生物による水質の簡易調査「平成27年度実施結果」

(水質階級 I：きれいな水 II：ややきれいな水 III：きたない水 IV：とてもきたない水)

県名	水系名	調査 地点数 (地点)	参加 人数 (人)	参加 団体数 (団体)	判定水質階級 (地点)				
					I	II	III	IV	未評価
鳥取県	千代川	8	225	7	8	0	0	0	0
	天神川	5	160	7	5	0	0	0	0
	日野川	2	35	2	2	0	0	0	0
島根県	斐伊川	26	787	20	16	5	4	1	0
	高津川	4	63	2	4	0	0	0	0
	江の川下流	6	107	5	2	4	0	0	0
岡山県	吉井川	5	60	2	1	3	1	0	0
	旭川	3	32	2	0	3	0	0	0
	高梁川	4	0	0	0	4	0	0	0
広島県	江の川上流	13	393	13	6	7	0	0	0
	芦田川	4	28	4	0	3	1	0	0
	太田川	14	59	5	8	6	0	0	0
広島県・山口県	小瀬川	3	19	1	2	1	0	0	0
山口県	佐波川	4	187	8	4	0	0	0	0
合計		101	2,155	78	58 57%	36 36%	6 6%	1 1%	0
前年 (平成26年)		112	2,380	87	61 54%	45 40%	6 5%	0 0%	0

※合計の％は未評価を除く地点での評価である。

【参加団体内訳】		
小学校	44団体	1,538人
中学校	15団体	219人
高等学校	3団体	33人
その他	16団体	365人

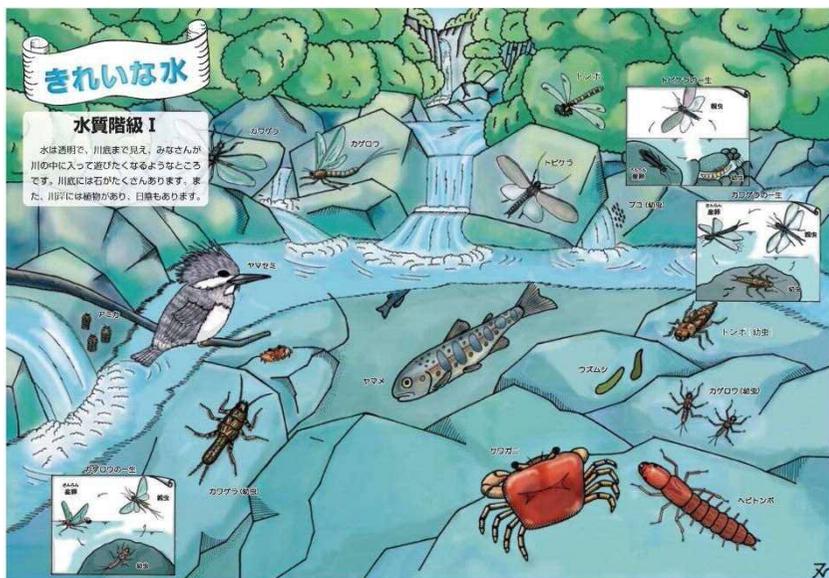
全国水生生物調査の概要

川の中には様々な生きものが住んでいます、特に川底に住んでいる生きものは、過去から調査時点までの長い時間の水質の状況を反映したものであり、どのような生きものが住んでいるかを調べることで、その地点の水質の程度を知ることができます。この調査は、適切な指導のもと、小学生、中学生、高校生、一般の人々のだれもが簡単にできるようになっています。

調査方法

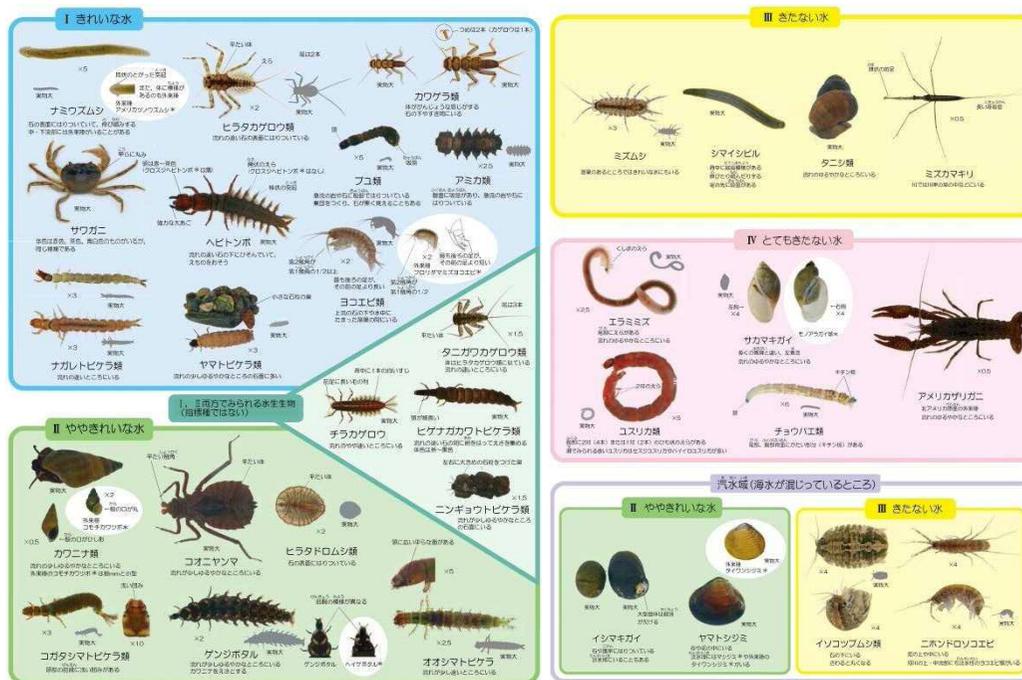
本調査では、河川に生息する水生生物のうち、①全国各地に広く分布し、②分類が容易で、③水質に係る指標性が高い29種を指標生物としています。

河川で水生生物を採集して指標生物の同定・分類を行い、地点毎に、Ⅰ（きれいな水）、Ⅱ（ややきれいな水）、Ⅲ（きたない水）、Ⅳ（とてもきたない水）の4階級で水質の状況を判定しています。



環境省「全国水生生物調査のページ」より

水質階級と指標生物



Ⅰ：きれいな水の生物		Ⅱ：ややきれいな水の生物	
ナミウスムシ	サワガニ	カワニナ類	コオニヤンマ
ヒラタカゲロウ類	カワガラ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ
ヘビトンボ	ナガレトビケラ類	ヒラタドROMシ類	ゲンジボタル
ヤマトビケラ類	ブユ類	○ヤマトシジミ	○イシマキガイ
アミカ類	ヨコエビ類		
Ⅲ：きたない水の生物		Ⅳ：とてもきたない水の生物	
タニシ類	シマイシビル	サカマキガイ	エラミミズ
ミズムシ	ミズカマキリ	アメリカザリガニ	ユスリカ類
○ニホンドロソコエビ	○イソコツブムシ類	チョウバエ類	

注) ○は海水の少し混ざっている汽水域の生物